



農業試験場暖地園芸センター ニュース

第55号(2025. 2)



農業者や関係機関の皆様におかれましては、暖地園芸センターの試験研究の推進にご理解、ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

さて、近年、地球温暖化により、平均気温が上昇し、大雨の年間発生回数が増加しています。特に夏秋季の気温上昇が農作物の生育に影響を与えています。また、日本が人口減少社会に入中、産業間で労働者の奪い合いが起こっており、労働者の確保が難しくなっています。

このような中、当センターでは、スターチスやエンドウにおいて高温耐性のある県オリジナル品種開発、ミニトマトで省力化や生産性向上を目指した複合環境制御技術開発の試験に取り組んでいます。

今後も、収益性の高い暖地園芸の振興に取り組んで参りますので、なお一層のご協力、ご鞭撻をお願いいたします。

(所長 初山 守)

目 次

研究の成果	環境制御下での高糖度ミニトマトの安定生産技術 (十川 太輔) 2~3
	無加温ハウスで栽培できる切り花の探索 (山野 智輝) 4
研究紹介	スターチスの萎凋細菌病抵抗性品種の育成 (出口 萌) 5
	実エンドウの品種育成の取り組み (神藤 千乃) 6